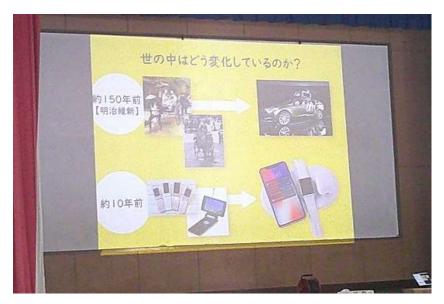
## 6年生 はたらくワークショップ や和6年9月12日(木)

今日は、遠方の先生にお越しくださり、**みんなにとっての「はたらく」を考えました。** まずは、ワークシートを使って、

10年後の生活はどうなっている?

どんなものがなくなってどんなことができるようになっているかな? を考えました。



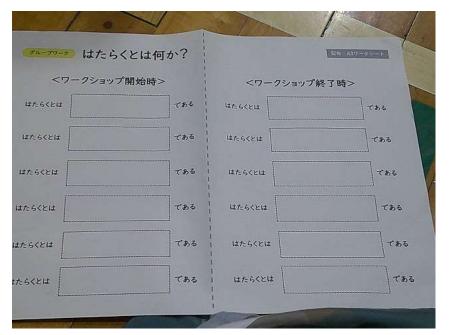




「病気が一瞬で結るようになる」、「空を飛ぶ軍ができる」、「店員がロボットになる」、「お銎(筑釜)がなくなる」、「蓮転手がいなくなる」など、たくさん考えたことを書きだしました。

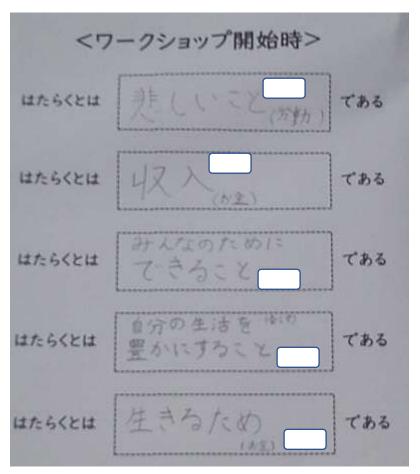
災に、みんなにとって、〈「はたらく」とは荷か?〉を考えました。

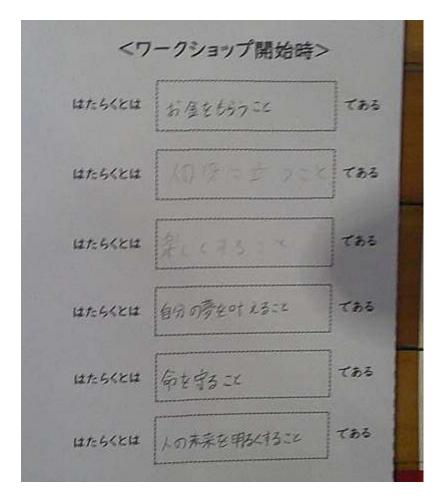






この課題を班で考えた結果、





たくさんの意見が出ました。

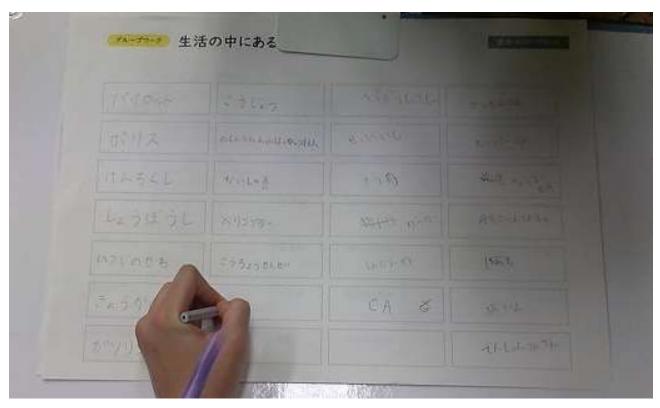
## (生活の中にある仕事を探してみよう)

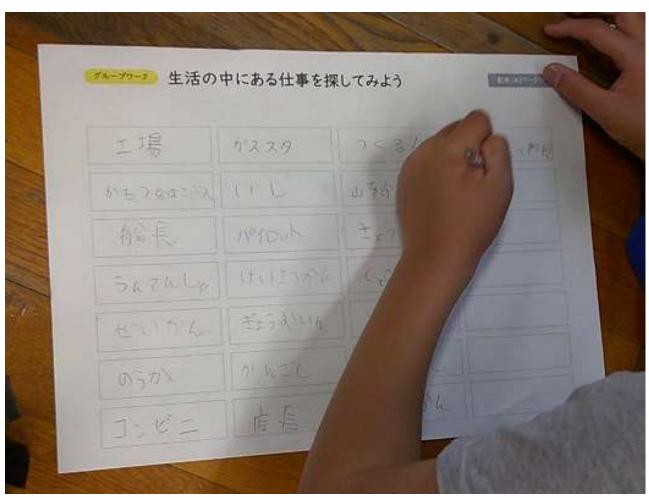














こうしてみると、たくさんのしごとがあることがわかりましたが、

ひと口に店員さん、といっても、コンビニで働く人やスーパーで働く人など さまざまです。

また、農家さん、といっても、レタスやお米など、作るものはさまざまです。
コンビニで働く店員さんにも、商品を企画する人や管理をする人、作る人、
商品を並べる人、

といったふうにたくさんの仕事があります。

いくつもの裏側にある仕事も、世の中を支えています。

みなさんも、まずは自分の『好き』に関わる仕事について探してみてはいかがでしょうか。

<sup>かんが</sup> そんなことを考えるきっかけになったでしょうか。

夢中になれるもの、頑張れるもの、をヒントにお仕事を探していきましょう。

## 〈ワークショップ終了後〉

みなさんのお仕事に対する考えが、ワークショップを通してどのように変化したでしょうか。

改めて、「はたらくとは何か?」 考えてみましょう。

すると、みなさんが班でまとめたワークシートには、

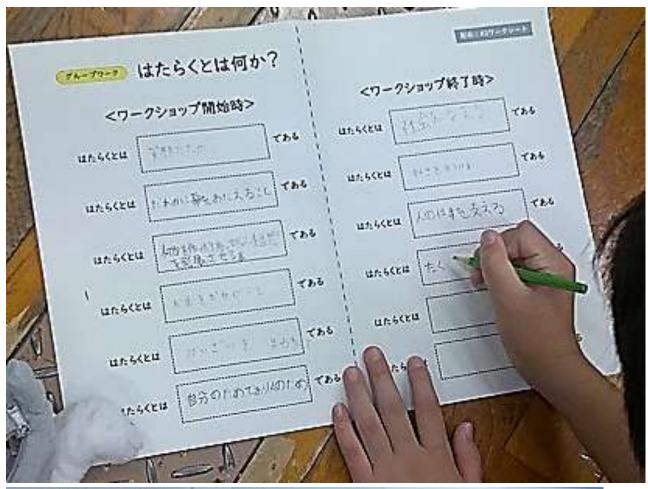
仕事とは「誰かに夢を与える」、「協働作業」、「支え合う」ことができるということ を理解したようで、

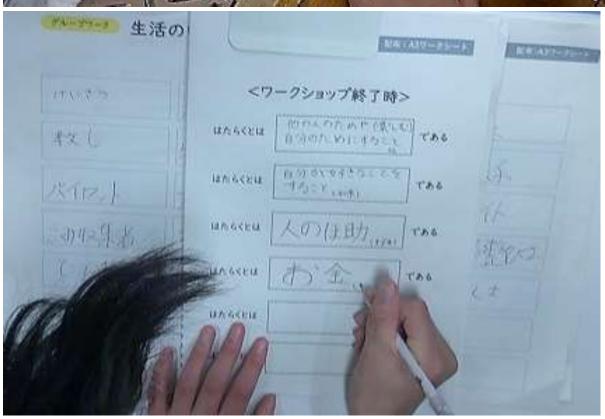
「ワークショップ開始前は仕事を生活のためだと思っていたけれど、大事なことで、 誰かの幸せにつながること」。

「仕事についてでいった。かんがえを持っていたけれど、好きなこと、選択肢があることが わかった」。

「自分のためのしごとだと思っていたけれど、小さなことがみんなのため、
国のため、誰かの未来のためになることに気づいた」。

とみなさんが発表してくれました。





「ありがとう」をもらうこと、喜んでくれることで、自分の幸せにも繋がりそうですね。

じかい 次回のはたらくワークショップは10月1日。

じずん 自分のことは自分で決める。自分で決めたことに責任を持つ。

じかい 次回までに、また少し、成長していきましょう!!